

書類 1 送致書

★ 送致書作成上の留意事項

ア 罪名は略さず正式罪名を記載すること。

道路交通法違反の場合は、法名の下に（ ）書で違反種別を記載してもよいと思われる。

共犯事件で被疑者ごとに犯罪行為の分担に相違があり、犯罪事実の内容に異同がある場合、犯罪事実は1つでなく、被疑者ごとに別個の犯罪事実の作成を要する。

イ 前科，身上欄は，前科照会書，身上調査照会書を添付できない場合は，照会月日を記載する。

ウ 犯罪の情状に関する意見は，色々な面から考えられるが，通常「意見欄」に挙げられているものは，次のようなものがある。

(ア) 前科又は非行歴があるかどうか。

(イ) 当該送致（付）に係る事実を認めているかどうか。

(ウ) 当該犯罪手口，方法が悪質であったかどうか。

(エ) 余罪があるかどうか（なければ特に書く必要はない。）。

(オ) 改悛の情があるかどうか。

(カ) 示談弁償の有無（なければ記載の要なし。）と被害者の処罰についての希望意見。

(その1)

様式第 53 号 (刑訴第 203 条, 第 211 条, 第 216 条, 第 242 条, 第 246 条)

不拘束 (通常) 緊急 現行 告訴 告発 自首

関 主任検察官

送 致 書

東京地方検察庁八王子支部

送 () 第 号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

検察官検事 山 田 正 殿

警 視 庁 〇 〇 警 察 署 長

司法警察員 警視 丙 野 乙 郎

下記被疑事件を送 致 する。

検 番 号	被疑者の住居, 氏名, 年齢等	前科	身上	逮捕の日 時	身柄連行
罪 名, 罰 条					
検 第 号 自動車運転過失致死 刑法第 211 条第 2 項 道路交通法違反 同法第 72 条第 1 項 同法第 117 条第 2 項・第 1 項 同法第 119 条 第 1 項第 10 号	住居 東京都〇〇市〇〇町 3 丁目 4 番 21 号 氏名 ありがな 甲 野 太 郎 昭和〇〇年〇月〇日生 (〇〇歳) 性別男 外国人登録 年 月 No.	(添付) 月 日 照会	(添付) 月 日 照会	〇〇月 〇〇日 午後 〇〇時 〇〇分	(有) 無
検 第 号	住居 氏名 ありがな 年 月 日生 (歳) 性別 外国人登録 年 月 No.	添付 月 日 照会	添付 月 日 照会	月 日 午 時 分	有 無
検 第 号	住居 氏名 ありがな 年 月 日生 (歳) 性別 外国人登録 年 月 No.	添付 月 日 照会	添付 月 日 照会	月 日 午 時 分	有 無
捜査主任官の職氏名	警部 橋本太郎	取扱 広瀬警部補 警電 5321 番			

(注意) 1 送致と送付に兼用する。

2 左上欄外及び前科, 身上, 身柄連行欄の各該当部分に赤○を付け, かつ, 前科・身上照会中の場合は, 月日を記入すること。

1 犯罪発覚の端緒 110 番電話通報による。
2 余罪の有無 なし
3 関連する事件につき、被疑者の氏名、逃走中、取調中、送致未送致の別、送致年月日等 なし
4 犯罪事実及び犯罪の情状等に関する意見 別紙のとおり

1 犯罪事実

被疑者は

第1 平成〇〇年〇〇月〇〇日午後10時〇〇分ころ、自家用普通乗用自動車（多摩501せ573号）を運転し、東京都〇〇市〇〇町1020番地先路上を国分寺方面から小平駅方面に向け、時速約60キロメートルで進行中、進路前方約50メートルの横断歩道左側端に立っている丁山乙治（36歳）を認めたのであるから、このような場合、自動車運転者としては、同横断歩道の手前で一時停止し同人の動静及びその安全を確認して進行すべき自動車運転上の注意義務があるのにこれを怠り、自車が通過するまで同歩行者は横断を開始することはいまいと軽信して漫然前記速度のまま進行した過失により、同人が横断歩道上を左から右に横断し始めたのを約21メートル手前で気づき、危険を感じて急制動の措置をとったが間に合わず、自車左前部を同人の右腰部に衝突転倒させ、よって、同人を即時同所において頭部損傷等により死亡させた

第2 前記日時・場所において、前記のとおり、車両を運転中、丁山乙治に傷害を負わせる交通事故を起こし、もって自己の運転に起因して人に傷害を負わせたのに、直ちに車両の運転を停止して、同人を救護する等の法令の定める必要な措置を講じず、かつ、その事故発生の日時及び場所等法律の定める事項を、直ちに最寄りの警察署の警察官に報告しなかった

ものである。

2 犯罪の情状等に関する意見

被疑者は、運転者として横断歩道付近に人がいる場合は、減速する等当然守るべき事項を守らず、しかも事故後逃走する等人道上許すことのできない行為を行なったにもかかわらず、証拠いん減する等改悛の情が認められない。

また、道路交通法違反歴（信号無視、速度、酒気帯び）3回を有する等違法精神に欠け情状酌量の余地は認められないので嚴重処分されたい。